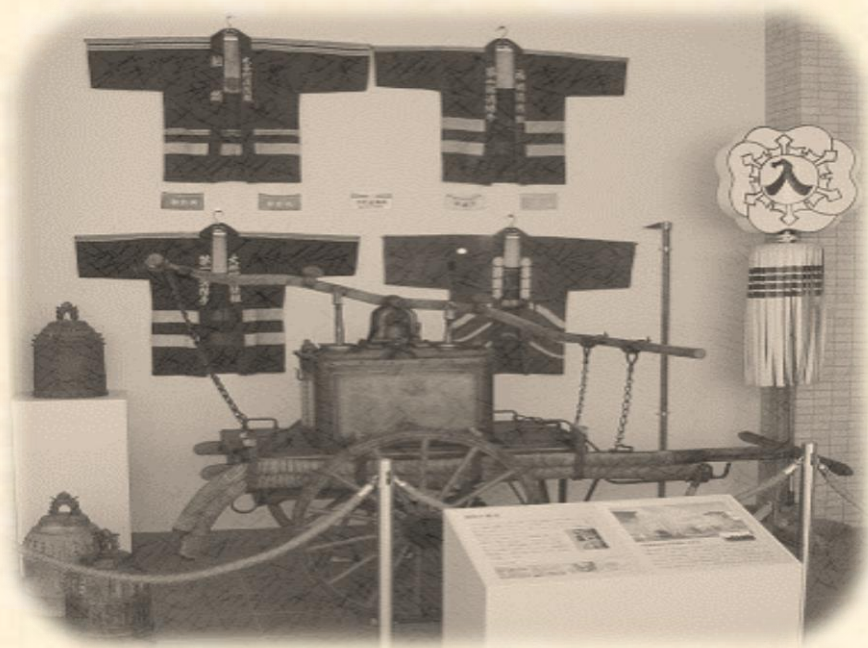
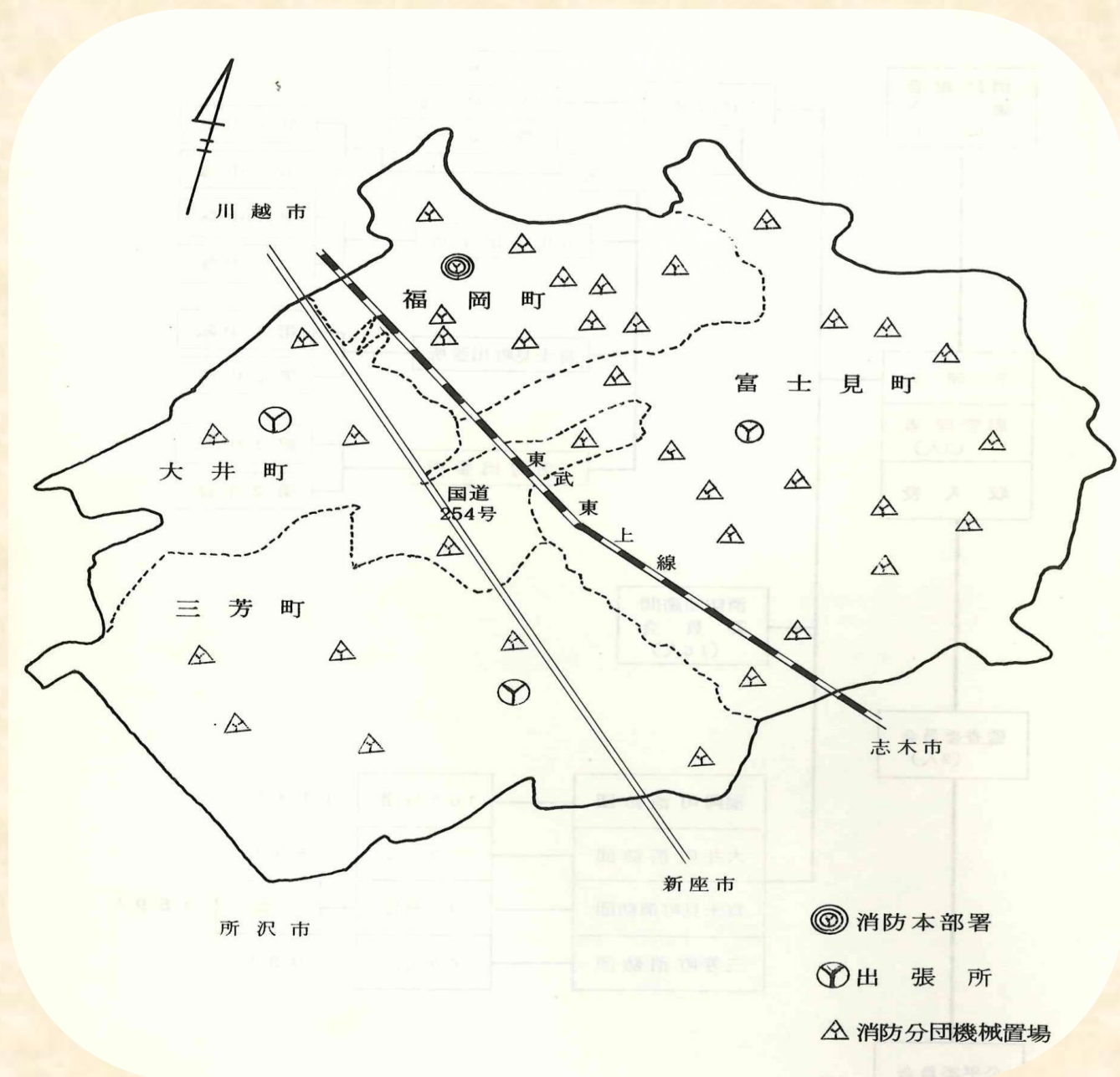


第1章

入間東部消防50年の変遷



昭和46年当時の消防組合消防施設配置図



「Y」記号は、国土地理院では、破壊消防の器具である刺又を図案化したものであるという説をとっています。

また、地図上で消防署の所在地を示すようになったのは、1909年(明治42年)頃からのことです。

入間東部地区消防組合の設立までの主なあゆみ

- 昭和42年 4月 ・福岡消防本部・消防署が設置され、消防長事務取扱に、福岡町長柳川秋之助氏が就任し、消防職員16人、消防ポンプ自動車(団)1台をもって、消防業務を開始する。
- 5月 ・救急自動車を配備し救急業務を開始する。
- 10月 ・福岡町大字福岡1500番地58に消防本部・消防署庁舎が完成する。
- 昭和43年12月 ・消防用超短波無線電話装置を導入する。
- 昭和44年 3月 ・柳川秋之助氏が退任し、消防長事務取扱に福岡町長、近藤克郎氏が就任する。

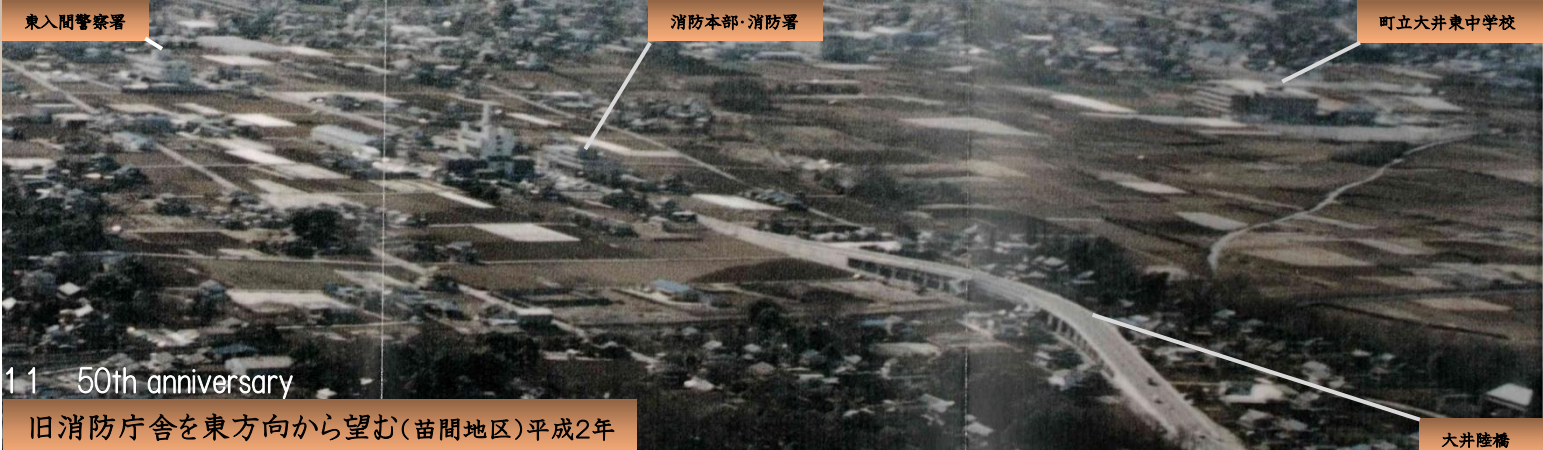
入間東部地区消防組合の主なあゆみ

- 昭和45年11月 ・入間東部地区消防組合(福岡町、富士見町、大井町、三芳町)を設立、消防本部を福岡町大字福岡1500番地58(旧福岡町消防本部)に置く。
- ・初代管理者に福岡町長近藤克郎氏、初代消防長に松本利夫氏が就任する。
- 昭和46年10月 ・富士見出張所仮庁舎を富士見町鶴馬1420番地、大井出張所仮庁舎を大井町亀久保1234番地8、三芳出張所仮庁舎を三芳町藤久保965番地9に開設し消防業務を開始する。
- 昭和47年 4月 ・富士見町、福岡町が市制施行(富士見市、上福岡市)する。
- 昭和49年 5月 ・消防本部・消防署庁舎を大井町苗間161番地2に新築移転、旧庁舎を上福岡出張所に改称する。
- 昭和52年 5月 ・みずほ台出張所庁舎を富士見市水子2265番地に開設し消防業務を開始する。
- 昭和53年 3月 ・三芳出張所庁舎が落成する。
- 昭和55年11月 ・消防長、松本利夫氏が退任する。
- 12月 ・第2代消防長に青木正三氏が就任する。
- 昭和56年11月 ・富士見出張所庁舎を富士見市山室1丁目1342-1に新築移転する。
- 昭和57年11月 ・大井出張所庁舎を大井町鶴ヶ岡1丁目3番40号に新築移転する。
- 昭和60年 5月 ・富士見出張所庁舎に訓練棟を設置する。
- 昭和61年 3月 ・消防長、青木正三氏が退任する。
- 4月 ・第3代消防長に杉本正雄氏が就任する。
- 昭和62年10月 ・消防音楽隊隊員29名をもって発足する。



町中心部方面を北方向から望む(福岡地区)昭和42年

- 平成 2年 7月 ・消防署を中央消防署に、富士見出張所を富士見消防署に、上福岡出張所を上福岡消防署の3消防署、大井出張所、三芳出張所、みずほ台出張所の3分署に改称して3署3分署体制となる。
- 11月 ・消防組合設立20周年記念誌「消防のあゆみ」を発刊する。
- 平成 3年 9月 ・女性看護婦を採用し救急車に同乗させる。全国初の「女性救急隊員」が誕生する。
- 平成 4年 7月 ・埼玉県医師会会長より救急功労機関表彰を受賞する。
- 平成 5年 3月 ・消防本部庁舎西側敷地内に、第二庁舎(通信指令室・救急消毒室)が完成する。
- 平成 6年10月 ・全国初の女性救急隊員当直制度を開始する。
- 平成 7年 1月 ・阪神・淡路大震災に伴い、救助工作車、災害対策車を災害応援救助活動のため被災地へ災害派遣する。
- 3月 ・機動二輪隊13名をもって発足する。
- 9月 ・自治省消防庁より埼玉県部隊の代表消防機関として、緊急消防援助隊県隊旗及び部隊旗を授与される。
- 平成 8年11月 ・消防組合設立25周年記念誌「消防のあゆみ」を発刊する。
- 平成 9年 2月 ・上福岡消防署庁舎を上福岡市川崎2丁目7番3号に新築移転する。
- 3月 ・消防長、杉本正雄氏が退任する。
- 4月 ・第4代消防長に浅海伊佐男氏が就任する。
- 9月 ・消防音楽隊創立10周年記念誌「住民とともに」を発刊する。
- 平成10年 4月 ・携帯電話から119番通報受信を開始する。
- 平成11年11月 ・県内初となる入間東部地区消防官友の会が発足する。
- 平成12年11月 ・消防組合30周年記念誌「消防のあゆみ」を発刊する。
- 平成13年10月 ・情報公開制度を開始する。
- 平成14年 4月 ・高圧ガス保安法に基づく事務を開始する。
- 平成15年 2月 ・三芳分署庁舎を三芳町北永井617番地8に新築移転する。
- 9月 ・消防音楽隊創立10周年記念誌「住民とともに」を発刊する。
- 平成16年10月 ・富士見消防署庁舎及び消防訓練場が完成し、富士見市鶴馬1850番地に新築移転する。
- 平成17年 7月 ・気管挿管認定救急救命士の運用を開始する。
- 10月 ・構成市町の上福岡市と大井町の廃置分合により、ふじみ野市が誕生する。
- 平成18年 3月 ・消防長、浅海伊佐男氏が退任する。
- 4月 ・第5代消防長に長嶋亘氏が就任する。
- 薬剤投与認定救急救命士の運用を開始する。
- 平成19年 3月 ・全国初の聴覚障害者を対象とした聴覚障害者防災訓練を実施する。
- 消防長、長嶋亘氏が退任する。
- 4月 ・第6代消防長に戸口守氏が就任する。
- 6月 ・第34回埼玉県消防救助技術指導会が当組合消防訓練場で開催される。
- 12月 ・消防音楽隊創立20周年記念演奏会を富士見市民文化会館キラリ☆ふじみで実施する。



東入間警察署

消防本部・消防署

町立大井東中学校

- 平成20年 2月 ・富士見消防署に特別救助隊を配置する。
- 平成21年 7月 ・地元企業より寄贈された住警器を住民に配布し、消防職団員による取付け作業を実施する。
- 平成22年 8月 ・消防組合設立40周年記念誌(消防年報に組込み)を発刊する。
- 平成23年 3月 ・東北地方太平洋沖地震に伴い緊急消防援助隊埼玉県部隊に登録している消火隊、救急隊、後方支援隊を被災地へ災害派遣する。
- 12月 ・ふじみ野市大井中央一丁目地内に消防本部・消防署移転用地を購入する。
- 平成25年 3月 ・消防長、戸口守氏が退任する。
- 4月 ・第7代消防長に大島英男氏が就任する。
- 8月 ・消防本部・中央消防署と大井分署が統合され、ふじみ野市大井中央に消防本部・消防署庁舎を新築移転する。また、同敷地内に消防訓練場が完成する。西消防署が開署、富士見消防署を東消防署に、みずほ台分署を富士見分署及び上福岡消防署をふじみ野分署に改称して、三芳分署と併せて2署3分署体制となる。
- 平成26年 3月 ・消防長、大島英男氏が退任する。
- 平成26年 4月 ・第8代消防長に長堀博昭氏が就任する。
- 6月 ・第41回埼玉県消防救助技術指導会が当組合東消防署消防訓練場で開催される。
- 平成27年 7月 ・第44回消防救助技術関東地区指導会が当組合東消防署消防訓練場で開催される。
- 平成28年 3月 ・消防長、長堀博昭氏が退任する。
- 4月 ・第9代消防長に塩野浩氏が就任する。
- 平成29年11月 ・消防音楽隊創立30周年記念演奏会をふじみ野市勤労福祉センターで実施する。

入間東部地区事務組合の主なあゆみ

- 平成30年 4月 ・入間東部地区消防組合と入間東部地区衛生組合が統合し入間東部地区事務組合が発足。新組合発足に伴い入間東部地区事務組合消防本部に改称される。
- 平成31年 3月 ・消防長、塩野浩氏が退任する。
- 4月 ・第10代消防長に玉田幸三氏が就任する。
- ・消防本部庶務係と管理係を統合して、消防総務課庶務係となる。
- 令和元年 5月 ・元号が「令和」に改められる。
- 令和 2年 4月 ・高規格救急自動車を1台増台し、救急体制を8台とする。

国道254号線川越街道 大井総合支所入口

HISTORY



入間東部消防50年のあゆみ

1967～1969年[昭和42～44年]

○入間東部地区消防組合の設立までの沿革

自治体消防発足から19年 福岡町消防本部・消防署の歴史が始まる

1967年[昭和42年10月]

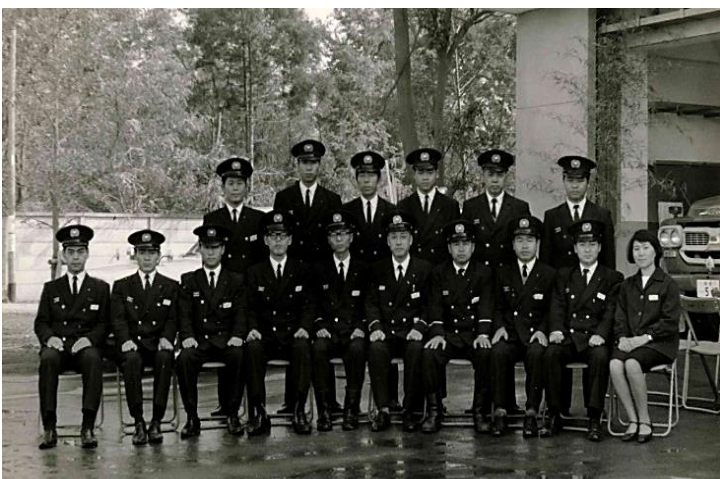
自治体消防発足から遅れること19年。福岡町消防本部・消防署庁舎は、福岡町大字福岡1500番地58に開設、消防職員実数16人、水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ・TXGF10型改)1台、救急自動車(RS46VGクラウンカスタム改)1台をもって発足しました。



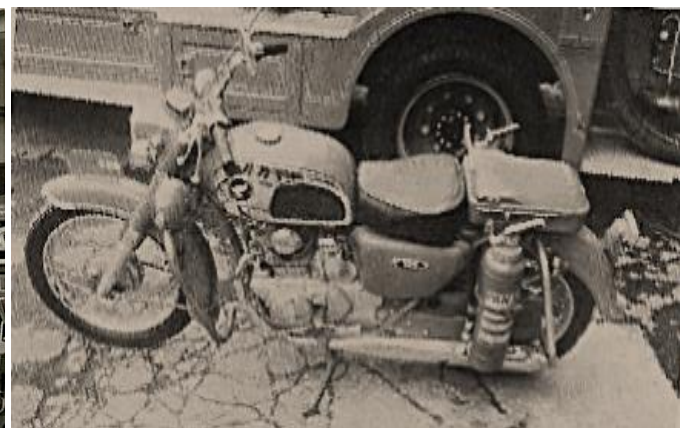
RC造2階建の初代消防本部・福岡町消防署庁舎



開署時配置された消防ポンプ自動車及び救急自動車



消防庁舎竣工式



赤バイク(125cc)

1968年[昭和43年4月]

消防職員実数20人となり、同年9月消防ポンプ自動車(ニッサン・FR40型改)を配置し、同年12月消防用超短波無線電話装置(三和・150MLIB)を配備する。

1969年[昭和44年7月]

赤バイク(ホンダ・ベンリーCD125)を配置する。

HISTORY



入間東部消防 50年のあゆみ

1970～1971年[昭和45～46年]

○入間東部地区消防組合の沿革

1970年[昭和45年11月]

福岡町、富士見町、大井町及び三芳町は、広域にわたる消防業務の計画に合意して、消防の一部事務組合を設立し、名称を「入間東部地区消防組合」と定め、消防本部・消防署を(旧・福岡町消防本部・消防署)福岡町大字福岡1500番地58に置く。

初代通信指令装置



福岡町消防本部・消防署内に設置された消防通信室内で119番通報を受信する通信員

消防車両



3台配置された水槽付消防ポンプ自動車

消防車両



福岡町消防署に配置されたボンネットタイプハイルーフ型の救急自動車



福岡町消防署に配置された消防ポンプ自動車

1971年[昭和46年4月]

消防職員実員41人となり、水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ・TXG10型改)3台、救急自動車(ニッサン・VH130型改、トヨタ・FS55S型改)2台を配置する。

HISTORY



入間東部消防50年のあゆみ

1971～1974年[昭和46～49年]

富士見、大井、三芳出張所開設

1971年[昭和46年10月]

富士見町大字鶴馬1420番地6に富士見出張所仮庁舎、大井町大字亀久保1234番地8に大井出張所仮庁舎、三芳町大字藤久保965番地9に三芳出張所仮庁舎を開設し、富士見出張所に水槽付消防ポンプ自動車及び救急自動車、大井出張所に水槽付消防ポンプ自動車及び18メートル級はしご付消防ポンプ自動車(ニッサン・TC81H型改)並びに三芳出張所に水槽付消防ポンプ車を配置し、消防業務を開始する。



軽量鉄骨プレハブ造平屋建の三芳出張所仮庁舎



大井出張所に配置された初代18メートル級はしご付消防ポンプ自動車

1971年[昭和46年12月]

18メートル級はしご付消防ポンプ自動車を配置し、高層建物の災害防ぎよの強化を図る。

1972年[昭和47年4月]

消防職員実員69人となり、福岡町から上福岡市、富士見町から富士見市へ市制施行する。

消防本部・消防署新庁舎に移転

1974年[昭和49年4月]

消防職員実員124人となり、同年5月、大井町大字苗間161番地2に消防本部・消防署庁舎として水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ・SBR320型改)、18メートル級はしご付消防ポンプ自動車(ニッサンTC81H型改)等を配置して新築移転する。また、同年10月、救急自動車(トヨタ・RH18V型改)等を配置する。なお、旧消防本部・消防署庁舎を上福岡出張所とする。



RC造3階建の2代目消防本部・消防署庁舎



通信指令室内で119番通報を受信中の通信員

HISTORY



入間東部消防50年のあゆみ

1975～1978年[昭和50～53年]

1975年[昭和50年1月]

救助活動の迅速化と強化を図るため、消防署に救助工作車（いすゞ・SBR320型改）を配置する。同年3月には、地震対策用としてミニ水槽積載車（トヨタ・KM10型改、水500リットル）を消防署に配置する。



消防署に配置された初代の救助工作車



消防署に配置されたミニ水槽積載車

みずほ台出張所開設、三芳出張所に新庁舎

1977年[昭和52年4月]

富士見市水子2265番地にみずほ台出張所庁舎が完成し、水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・SBR320型改）を配置し出張所として消防業務を開始する。同年7月消防職員実数153人となる。また、翌年3月に救急自動車（トヨタH-RH42VB型）を配置する。

1978年[昭和53年2月]

三芳町藤久保大字965番地9に三芳出張所庁舎が完成し、水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・TXG10型改）、新たな出張所として消防業務を開始する。同年4月に消防職員実数158人となる。また、翌年6月に救急車（トヨタFS55V型改）を配置する。



初代みずほ台出張所庁舎鉄骨ACL造2階建



初代三芳出張所庁舎鉄骨ACL造2階建

HISTORY



入間東部消防50年のあゆみ

1981～1986年[昭和56～61年]

富士見・大井出張所新庁舎に移転

1981年[昭和56年11月]

消防職員実数167人となり、富士見市山室1丁目1342-1に富士見出張所庁舎として水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・TXG10型改）、救援車（いすゞTLD34改）を配置し、新庁舎に新築移転する。また、翌年2月、38メートル級はしご付消防ポンプ車（日野・K-FW274AA型改）を同所に配置する。

1982年[昭和57年11月]

大井町鶴ヶ岡1丁目3番40号に大井出張所庁舎として消防ポンプ自動車（いすゞSDR320型改）、救急自動車（トヨタH-RH19V）また、富士見出張所に配置の救援車（いすゞ・TLD34改）を配置換えし、新庁舎に新築移転する。



2代目富士見出張所庁舎鉄骨ACL造2階建



2代目大井出張所庁舎鉄骨ACL造2階建

1985年[昭和60年5月]

消防職員実数176人となり、複雑多様化する各種災害に対応のため、富士見出張所敷地内に訓練棟を設置する。

特別救助隊発足

1986年[昭和61年4月]

消防署に特別救助隊を置く。



特別救助隊員



発足当時は組合章の紋章をつけていた。



鉄骨ACL造訓練棟5階建

(富士見出張所)

HISTORY

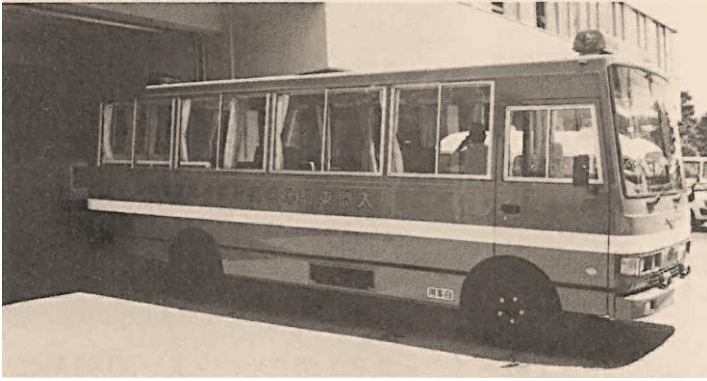


入間東部消防50年のあゆみ

1987～1990年[昭和62～平成2年]

1987年[昭和62年5月]

消防職員実員179人となり、県下初の災害対策車(日野・レインボーP-AB115AA型改)を配置し、災害現場でのり災保護及び現場対策本部等の様々な用途に活用。



消防署に配置された県下初の災害対策車



(於:88さいたま博覧会・熊谷市)

県下消防音楽隊代表として出場演奏

1987年[昭和62年10月]

消防本部に音楽隊隊員29名をもって発足する。

1989年[平成元年3月]

消防職員実員186人となり、密集住宅地の消防対策として10メートル級はしご付消防ポンプ自動車(いすゞ・NKR-58E)を配置する。

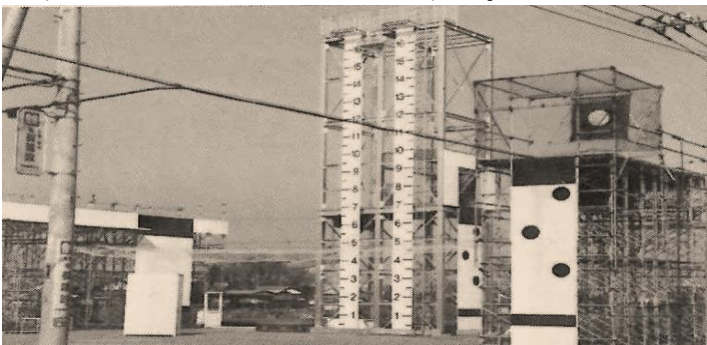


富士見出張所に配置された初代10メートル級はしご付消防ポンプ自動車



1990年[平成2年3月]

消防署敷地内に訓練棟(S造17メートル)を設置し、同年5月に移動式空気充填車(いすゞ・P-NKR58L型)を配置する。



S造の訓練棟



消防署に配置され移動式空気充填車

HISTORY



入間東部消防50年のあゆみ

1990～1993年[平成2～5年]

1本部3署3分署体制

1990年[平成2年7月]

消防職員実数191人となり、消防本部・消防署(本署)を中央消防署に、富士見出張所を富士見消防署に、上福岡出張所を上福岡消防署の3消防署、大井出張所、三芳出張所、みずほ台出張所の3分署に改称し、1本部3署3分署体制となる。

入間東部消防設立20周年記念誌発行

1990年[平成2年11月]

組合設立20周年記念式典を大井中央公民館において実施し、消防組合設立20周年記念誌「消防のあゆみ」を発刊する。

(於:大井中央公民館ホール)



消防組合設立20周年記念式典

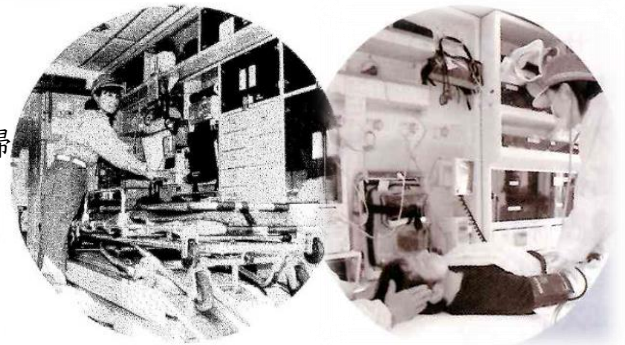


消防組合設立20周年記念誌

全国初の女性救急隊員が誕生

1991年[平成3年9月]

同年4月消防職員実数194人となり、女性看護婦を採用し、救急車に同乗させる。



消防本部第2庁舎運用開始

1993年[平成5年3月]

消防本部・中央消防署庁舎西側に第2庁舎が完成する。1階に救急消毒室を配置し、2階部分には、消防緊急通信システム(II型)を導入して、同年12月より運用を開始する。



第2庁舎内の通信指令室で119番通報を受信する通信員また、指令放送は職員の肉声で行われていた。

HISTORY



入間東部消防50年のあゆみ

1993～1995年[平成5～7年]

救急救命士と高規格救急自動車運用開始

1993年[平成5年5月]

消防職員実数209人となり、中央消防署に高規格救急自動車(ニッサン・N-NG4YH1改)を配置し、運用を開始する。



中央消防署に配置された初代高規格救急自動車(朝日号) 読売新聞(埼玉版)



全国初の女性救急隊員当直制度発足

1994年[平成6年10月]

消防職員実数217人となり、女性救急隊員の当直制度を発足する。(全国で初めて女性救急隊員の当直を実施する。)

埼玉県下初の機動二輪隊発足

1995年[平成7年3月]

機動二輪隊を隊員13名にて発足する。



消防機動二輪隊員

埼玉県隊旗、部隊旗、自治省消防庁よりの授与

1995年[平成7年9月]

消防職員実数229人となり、自治省消防庁に編成された緊急消防援助隊埼玉県部隊の代表機関として、当消防組合の救急部隊、後方支援部隊が登録され、県隊旗及び部隊旗が自治省消防庁より授与された。



左:田中喜三管理者から右:杉本正雄消防長に緊急消防援助隊県隊旗及び部隊旗が授与される。

HISTORY



入間東部消防50年のあゆみ

1997～2003年[平成9～15年]

上福岡消防署新庁舎に移転

1997年[平成9年2月]

消防職員実数238人となり、上福岡市川崎2丁目7番3号(現:ふじみ野市)に上福岡消防署庁舎として、水槽付消防ポンプ自動車(三菱・U-FK618GZW改)消防ポンプ自動車、救助工作車(三菱・P-FK416FZ改)高規格救急自動車(三菱・KC-FG638E改)災害用支援車等(ユニモグ)を配置し、完全個室化の仮眠室と高齢者情報管理室が設置され新庁舎に新築移転する。



2代目上福岡消防署RC造地上2階建・地下1階建



消防組合設立30周年記念誌

入間東部消防発足設立30周年記念誌発行

2000年[平成12年11月]

消防職員実数251人となり、消防組合設立30周年記念誌「消防のあゆみ」を発刊する。

中央消防署三芳分署新庁舎に移転

2003年[平成15年2月]

消防職員実数259人となり、三芳町北永井617番地8に三芳分署庁舎として、化学消防ポンプ自動車(いすゞ・KK-FSR33G4V改)、10メートル級はしご付消防ポンプ自動車(いすゞ・U-NKR58E2N改)高規格救急自動車(三菱・KC-FG638E改)等を配置し、新庁舎に新築移転する。



2代目中央消防署三芳分署RC造一部鉄骨造3階建、訓練棟4階建

HISTORY



入間東部消防50年のあゆみ

2004～2006年[平成16～18年]

富士見消防署新庁舎に移転

2004年[平成16年10月]

消防職員実数266人となり、富士見市鶴馬1850番地1に富士見消防署庁舎3棟の訓練棟及びヘリコプターの離着陸のできる消防訓練場を整備し、救助工作車(ヒノ・KC-FXJGB A改)水槽付消防ポンプ自動車(三菱・U-FK618GZW改)、消防ポンプ自動車(ヒノ・PD-XZ U334M)高規格救急自動車(ニッサン・GE-FLWGB50)等を配置し、新築移転する。



3代目富士見消防署RC造一部鉄骨造3階建



RC造6階建A棟、3階建のB、C棟の消防訓練場

気管挿管・薬剤投与認定救急救命士の運用開始

2005年[平成17年7月]

消防職員実数271人となり、気管挿管認定救急救命士の運用を開始する。

2006年[平成18年4月]

薬剤投与認定救急救命士の運用を開始する。

中央消防署・富士見消防署にAEDを設置

2006年[平成18年6月]

中央消防署・富士見消防署にAED(自動体外式除細動器)を設置する。



庁舎内に設置されたAED

HISTORY



入間東部消防50年のあゆみ

2007～2013年[平成19～25年]

第34回埼玉県消防救助技術指導会を開催

2007年[平成19年6月]

第34回埼玉県消防救助技術指導会(陸上の部)を富士見消防署消防訓練場で開催する。同年8月、第36回全国消防救助技術指導会(東京・夢の島)へ関東地区代表として障害突破が出場し、入賞を果たした。



富士見消防署消防訓練場で開催 障害突破(第36回全国消防救助技術指導会)

消防組合設立40周年記念誌

入間東部消防発足設立40周年記念誌発行

2010年[平成22年8月]

消防職員実数270人となり、消防組合設立40周年記念誌(消防年報平成21年度版)に組み込み発刊する。

消防本部・西消防署新庁舎に移転、防災館を開設

2013年[平成25年8月]

消防職員実数272人となり、ふじみ野市大井中央1丁目1番19号に消防本部・西消防署庁舎、消防訓練場に2棟の訓練棟が完成し、救助工作車(ヒノ・SDG-GX7JGAA改)、38メートル級はしご付消防自動車(ニッサンディーゼル・FJ550LN)水槽付消防ポンプ自動車(ヒノ・BDG-GX7JGWA改)消防ポンプ自動車(ヒノ・KK-XZU331M)高規格救急自動車2台、災害用支援車、資機材運搬車(三菱・KK-FE62EE)等配置し、新庁舎に新築移転する。また、同時に防災館を開設、体験型の防災学習施設として一般開放し、防災意識の普及、啓発及び高揚を図る。



基礎免震、RC造4階建三代目の消防本部・西消防署

RC造A棟6階建、B棟3階建の消防訓練場

HISTORY



入間東部消防50年のあゆみ

2013～2015年[平成25～27年]

高機能消防指令センター

2013年[平成25年8月]

高機能消防指令センター総合整備事業(Ⅱ型)が完成し運用を開始する。



消防本部に設置された消防指令センター内で119番通報を受信する通信員



1本部2署3分署体制

2013年[平成25年8月]

消防本部・中央消防署と大井分署が統合され、消防本部・西消防署が開署、富士見消防署を東消防署、みずほ台分署を富士見分署、上福岡消防署をふじみ野分署に改称して三芳分署と併せて1本部2署3分署体制となる。

第44回消防救助技術関東地区指導会を開催

2015年[平成27年7月]

消防職員実数281人となり、第44回消防救助技術関東地区指導会(陸上の部)が当消防組合東消防署消防訓練場で開催される。



東消防署消防訓練場で開催



選手宣誓する入間東部消防職員

HISTORY



入間東部消防50年のあゆみ

2018～2020年[平成30年～令和2年]

○入間東部地区事務組合の沿革

入間東部地区事務組合消防本部に改称

2018年[平成30年4月]

入間東部地区消防組合と入間東部地区衛生組合が統合し、入間東部地区事務組合が発足する。新組合発足に伴い、入間東部地区事務組合消防本部に改称する。

高度救助隊(シルバーバック)発足

2018年[平成30年10月]

西消防署に埼玉県内10番目となる。高度救助隊(シルバーバック)を置く。



高度救助隊紋章



高度救助隊員

2020年[令和2年4月]

消防職員実数286人となり、ふじみ野市災害対策協会、三芳町災害対策協力会と災害発生時の無人航空機を活用した消防活動支援協力に関する協定を締結する。

入間東部消防発足50周年

今、また新しい入間東部消防の幕開け

2021年[令和3年3月]

富士見市大字水子字台下4060番1に東消防署富士見分署新庁舎の開署を予定している。

(イメージCG)



東消防署富士見分署